

私の竹灯籠見つけた

馬場区で竹灯籠イベント開催

馬場区で竹灯籠が11月13日に開催されました。これは、大津北小学校の6年生が描いた絵を基にしたものなどさまざまな竹灯籠を並べるイベントで、昨年から行われています。作成した竹灯籠は、6年生の卒業記念として渡されます。宇都道夫区長は「子どもからお年寄りまでみんなで作り上げた。今後もつないでいきたい」と話しました。交流の場となっている西福寺観音堂は、老朽化が進んでいたため、実行委員会を中心に住民の皆さんと工事業者で協力して改修が行われました。



竹灯籠には絵を描いた児童の名前も刻まれています

小学生が未来の空港をデザイン

阿蘇くまもと空港に護川小学校の児童の絵を展示

阿蘇くまもと空港を運営する熊本国際空港(株)は、2023年春(予定)の供用開始に向けて新旅客ターミナルビルの新築工事を行っています。

工事期間中、地域共生の一環として、空港周辺地域の小学生による、「未来の空港」のテーマで描かれた絵を工事現場周囲に設置している仮囲いに展示しています。

町からは、護川小学校の3年生から6年生の児童の117点の作品を令和4年2月末まで展示しています。工事状況により、展示期間は変更する場合があります。



国際線旅客ターミナルビル入口付近の壁に作品を展示中

トリックオアトリート!

新区でハロウィンイベント開催

新区で10月24日、「ハッピーハロウィンプロジェクト」を行いました。これは、子どもたちが組内の15の家庭を訪問して、お菓子をもらうイベントです。当日は、子どもたちが元気良く家を訪問しました。全ての家を回り終えた後に、子どもたちがもらったお菓子をみんなで分け合いました。参加者の中には、仮装を楽しむ家族もいて、「お菓子をいっぱいもらえて楽しかった」「またみんなでハロウィンをやりたい」と、大盛り上がりでした。



消毒などの感染症対策を講じた上で、参加した子どもたちはお菓子をもらってとても喜んでいました

ボランティアできれいな町に

株九電工グループによるボランティア活動

株九電工大津営業所による樹木伐採作業が、10月26日、美咲野小学校南側で行われました。

この活動は、九電工グループが毎年10月「さわやかコミュニティ旬間」として実施しているもので、グループの特色を生かした設備点検や高所の清掃など、各事業所で地域の皆さんのニーズに応じた活動を展開しています。

伐採により道路が安全に利用できるようになりました。ボランティア活動ありがとうございました。



道路にはみ出た樹木の伐採を行っています

町の魅力をもっと届けるために

地域おこし協力隊の辞令交付式

11月から地域おこし協力隊として新たに、山田桂士さん(室)が着任しました。主な任務は、観光面での情報発信の強化とシティプロモーションです。

役場商業観光課に所属し、肥後おおづ観光協会が事務所を構える町まちづくり交流センターに勤務します。任期は3年間を予定しています。

山田さんは「町の魅力を掘り起こすためにも、皆さんの大津愛あふれる情報をたくさんお待ちしています」と話しました。



ライター経験の手腕が期待される山田桂士さん

カライモのクラフトビール開発

クラフトビール開発プロジェクト第1弾

肥後おおづ観光協会と、WITCH CRAFT MARKETを営むKAM Brewingが、大津町産の「すいおう」(カライモの茎葉)とホップを使ったクラフトビールを開発しました。

地元素材を活用したクラフトビール開発プロジェクトの第1弾で、今後もカライモやキンカン、お茶を使用したクラフトビールの開発を予定しています。

町内店舗で購入できるほか、飲食店の提供やふるさと納税の返礼品として登場します。



町に完成の報告をしました

名前は「WITCH CRAFT MARKET #01」

初のIT企業が大津町に進出

カダブラ(株)が町と立地協定締結

IT企業のカダブラ(株)(本社:東京都)が町と立地協定を締結しました。県知事の立ち合いのもと11月1日、県庁で締結式が行われました。

カダブラ(株)はITを活用したコンサルティングやさまざまな業務のシステム開発に取り組むほか、プログラミングスクールも展開する予定です。

立地協定調式で佐藤 代表取締役社長は、「テクノロジーの力で企業の効率化を後押しし、地域のIT人材育成にも貢献していきたい」とあいさつしました。



県知事と町長とカダブラ(株)の佐藤代表取締役社長(左から3番目)

絵本で分かる「しんがたコロナ」

更生保護女性会による絵本の贈呈

町更生保護女性会から町内小学校と町立幼稚園・保育園への絵本の贈呈式が10月18日、役場で行われました。

町更生保護女性会は、青少年の健全な育成に努めるとともに、関係団体と連携しつつ、過ちに陥った人たちの更生のための支えとなることを目的に、小中学校での読み聞かせ活動、幼稚園・保育園での郷土料理教室、更生の支援などを行っています。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、学校への往訪ができなかったこともあり、絵本を贈る取り組みを計画されました。



更生保護女性会の皆さんから絵本の贈呈